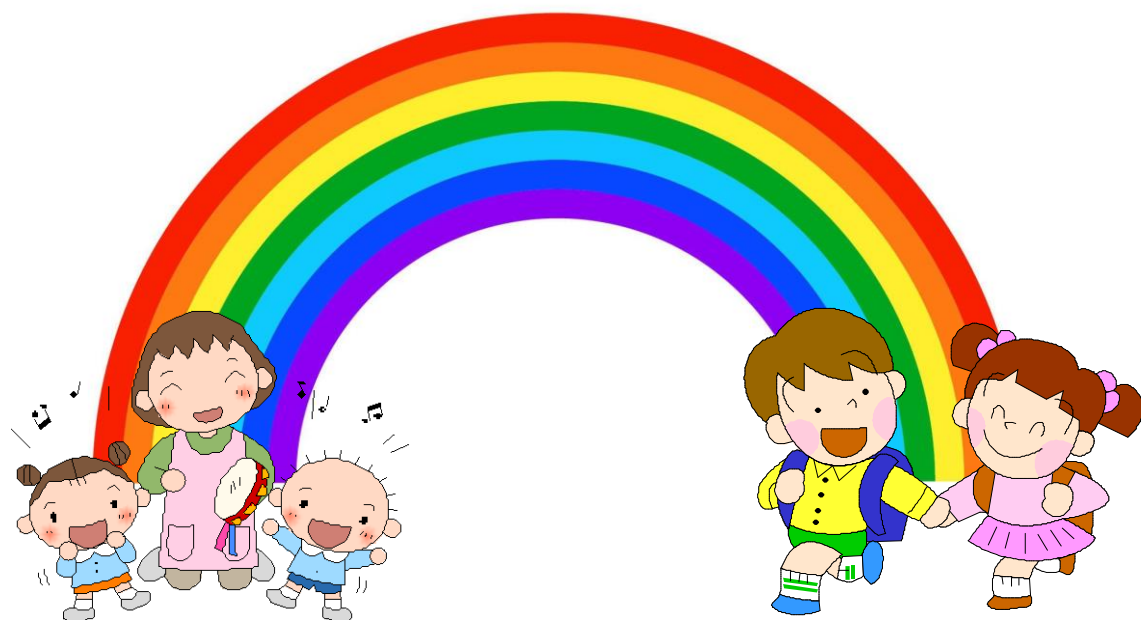


保幼こ小の育ちをつなぐ

黄金っ子 架け橋サポートガイド



令和5年10月

 沖縄県教育庁義務教育課

はじめに

文部科学省は、全国的な架け橋期の教育の充実を目指し、令和4年度より「幼保小の架け橋プログラム」を推進しています。これは、子どもに関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、架け橋期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を育めるようにすることを目指すものです。

本県においては、「沖縄型幼児教育」として保幼小の連携体制を構築し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を推進してきました。今後も、これまで築いてきた保幼小の連携体制を基盤として、沖縄県全体で架け橋プログラムの推進を図っていくことを目指し、本ガイドを作成しました。なお、本ガイドは「沖縄県架け橋カリキュラム作成準備会議」「沖縄県架け橋カリキュラム作成会議」における議論等を踏まえて作成しております。

保幼小の先生方が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとした対話を通して相互理解を深め、育成を目指す資質・能力を視野に入れながら共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化し、さらに、架け橋期のカリキュラムを策定・充実できるよう、本ガイドを各市町村や各園・各小学校における研修等で御活用ください。

黄金っ子架け橋サポートガイド目次

- 1 「幼保小の架け橋プログラム」のねらい・・・・・・・・・・ P1
- 2 架け橋期のカリキュラムの方向性・・・・・・・・・・ P1
- 3 幼児期において育みたい資質・能力・・・・・・・・・・ P1
- 4 架け橋期のカリキュラムの進め方のプロセス・・・・・・・・ P2
- 5 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿・小学校とのつながり・・・ P3
- 6 カリキュラム開発における共通の視点の例
 - ① 期待する子ども像・・・・・・・・・・ P8～9
 - ② 遊びや学びのプロセス
遊びのプロセスの例・・・・・・・・・・ P10
学びのプロセスの例・・・・・・・・・・ P11
 - ③ 園で展開される活動・小学校での学習
小学校での学習や生活を見通した「幼児教育の展開」・・・・・・・・ P12
幼児教育での遊びや生活を踏まえた「小学校教育の工夫」の例・・・ P13～14
 - ④ 指導上の配慮事項・・・・・・・・・・ P15～16

ワークシート目次 *別添

- ワークシート1 基盤づくりから改善・発展サイクルの定着に至るまでのプロセスの目安
- ワークシート2 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
- ワークシート3 期待する子ども像
- ワークシート4 遊びを通じた幼児の学び
- ワークシート5 生活科の学習(1) はなをさかせよう
生活科の学習(2) なつがやってきた
生活科の学習(3) あきのたからものをみつけよう
- ワークシート6 スタートカリキュラム週単位
スタートカリキュラム日単位
スタートカリキュラム週単位
- ワークシート7 先生の関わり・環境の構成(1) 離席する子
先生の関わり・環境の構成(2) 先生と1対1の関係を求める子

架け橋期のカリキュラムシート *別添

1 「幼保小の架け橋プログラム」のねらい

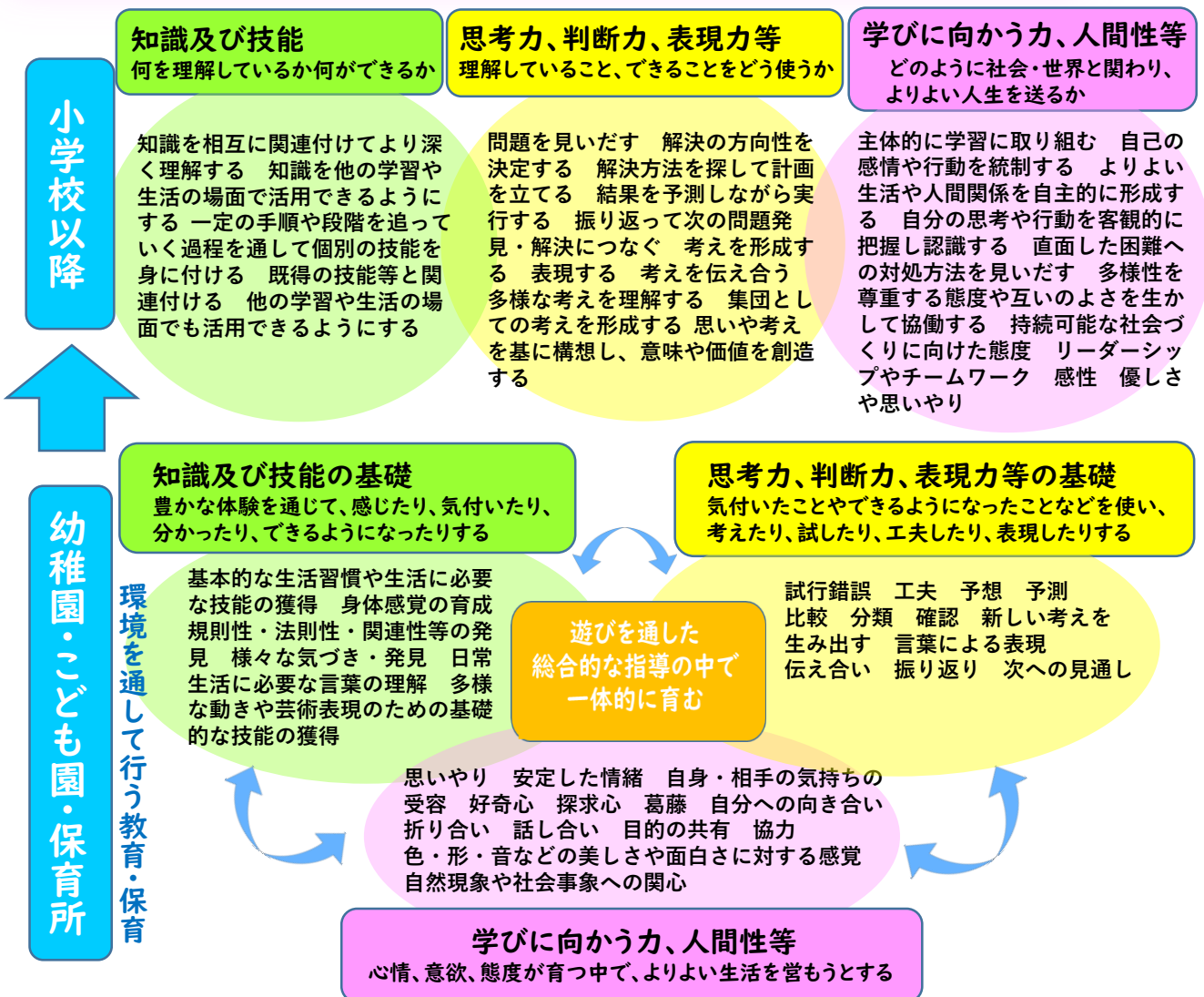
- 幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携して、カリキュラム・教育方法の充実・改善にあたることを推進
- 3要領・指針、特に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の正しい理解を促し、教育方法の改善に生かしていくことができる手立てを普及
- 架け橋期に園の先生が行っている環境の構成や子供への関わり方に関する工夫を見える化し、家庭や地域にも普及
- 幼児期・架け橋期の教育の質保障のための枠組みを構築し、データに基づくカリキュラム・教育方法の改善を促進

2 架け橋期のカリキュラムの方向性

架け橋期のカリキュラムは、保幼小が協働し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるように、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとし、育成を目指す資質・能力を視野に入れながら策定します。そして、園と小学校の先生と一緒に振り返って評価し、改善・発展させていきます。

取組全体を通じて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、園長・校長のリーダーシップと自治体の支援の下、園と小学校の先生が、子どもの育ちを中心に据えた対話を通して相互理解・実践を深めていきます。

3 幼児期において育みたい資質・能力



4 架け橋期のカリキュラムの進め方のプロセス

基盤づくりから改善・発展サイクルの定着に至るまでのプロセスの目安
地域や園・学校の実態に応じ、各フェーズ間を行きつ戻りつしながら発展させましょう。

	園・小学校				自治体	
	架け橋のカリキュラム	チェック	実施に必要なこと	チェック	支援・体制	チェック
フェーズ1 基盤づくり	・園長・校長及び担任間での関係づくりをしているか？	済 未	・連携窓口があるか？	済 未	・保幼こ小の先生の相互理解が深まる工夫をして、保幼こ小合同研修を実施しているか？	済 未
	・園・小学校での子どもの生活の流れや活動について共有しているか？	済 未				
	・上記を踏まえて各園、各小学校で教育課程編成・指導計画作成をしているか？	済 未	・自園・自校の先生が保幼こ小の連携・接続に、積極的に、全員参画しているか？	済 未	・自治体内の関係部局と連携しているか？	済 未
	・幼保小間での子どもの交流をしているか？	済 未				
フェーズ2 検討・開発	・少なくとも5歳児～小1の2年間を対象とした架け橋期のカリキュラムがあり、保幼こ小の共通の視点があるか？	済 未	・保幼こ小の合同会議があるか？	済 未	・研修について、保幼こ小の先生が相互理解を深め、実践に生かしやすい工夫や研修教材の開発、勤務地や勤務時間によらない実施方法の工夫をしているか？	済 未
	・教材としての環境の共通理解があるか？	済 未	・相互の教育の内容や方法に関して保幼こ小の先生が話し合っているか？	済 未	・関係団体と連携し、園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネートをしているか？	済 未
	・事前・事後打合せ等、幼児と児童の双方に学びがある交流を工夫しているか？	済 未			・他の自治体と取組内容について情報交換をしているか？	済 未
フェーズ3 実施・検証	・そのカリキュラム、共通の視点は実践に生かされているか？	済 未	・保幼こ小の合同会議で話し合う内容は深まっているか？	済 未	・架け橋期のカリキュラムの実施・検証に加え、改善・発展の視点を研修に取り入れているか？	済 未
	・教材としての環境の活用について、保幼こ小の先生が一緒に考える機会があるか？	済 未	・接続する園・小学校の実践について、実感を伴った理解のもと、話し合っているか？ (公開保育・公開授業及び保育・授業研究会等)	済 未	・保幼こ小の協働推進のため、経験年数、設置者、施設類型、学校種に配慮したきめ細かな対応をしているか？	済 未
	・子どもの自発的な交流が生まれるよう、幼保小の先生が協働して工夫しているか？	済 未			・園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネートについて、ニーズや課題に応じて行っているか？	済 未
フェーズ4 改善・発展 サイクルの 定着	・フェーズ2～3のPDCAサイクルが確立し、持続的に改善・発展できる仕組みとなっているか？	済 未	・定期開催が継続し、短期的、中長期的視点から話し合っているか？	済 未	・研修内容や研修教材の体系化と充実を図っているか？	済 未
			・改善・発展のため、接続する園・小学校での子どもの学びや生活を具体的にイメージしながら話し合っているか？	済 未	・架け橋期のカリキュラムに関する必要な支援策の改善・発展をしているか？	済 未

ワークシート1

自園・小学校がどのフェーズにいるかチェックし、具体的な取組を考えていきましょう。

5 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)・小学校とのつながり

10の姿は、到達目標ではありません。遊びや生活の中で、資質・能力が総合的に育まれ、10の姿として見られるようになってきます。それが、小学校生活でのどのような姿につながっていくかについて話し合しましょう。

	5歳児後半の姿	具体的な姿の例	教師の援助	小学校生活での姿
健康な心と体	園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。	 <p>もうすぐ最後までできる！</p>  <p>汗いっぱいいたから、着替えよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が自ら体を動かし多様な動きを楽しめるよう工夫する。 ・よりよい生活のために必要な行動を幼児の必要感に基づいて身に付けていけるよう工夫する。 ・健康で安全な生活のために必要なことを学級で話題にして一緒にやってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の活動を考えて準備をしたりするなどの見通しをもって行動する。 ・安全に気を付けて登下校しようとする。 ・小学校の学習における運動遊びや休み時間などに他の児童と一緒に楽しく過ごすことなど、自ら体を動かして楽しく遊ぶ。
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。	 <p>集まりが始まるから、みんなで片付けよう！</p>  <p>うまくいかないな、今度はこんなふうにつなげてみようか？</p>  <p>Aちゃんとてもステキな考えだね</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児一人一人が、自分で活動を選びながら園生活を主体的に送ることができるようにする。 ・その日に必要なことなどをどの幼児も分かりやすいように視覚的に提示する。 ・幼児が自分で考えて行動できるよう、ゆとりをもった園生活の流れに配慮する。 ・その日の流れを意識できるように個別に援助する。 ・一人一人の幼児のよさが友達に伝わるように認めたり、学級全体の中で認め合える機会をつくったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることは自分でしようと積極的に取り組む。 ・生活や学習での課題を自分のこととして受け止めて意欲的に取り組む。 ・自分なりに考えて意見を言ったり、分からないことや難しいことは、教師や友達に聞きながら粘り強く取り組んだりする。

	5歳児後半の姿	具体的な姿の例	教師の援助	小学校生活での姿
協同性	<p>友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p>	 <p>本当のお店屋さんみたいに並べてみよう</p>  <p>ここおさえてて！</p>  <p>OK！</p>  <p>Aちゃん達は絵が上手だから看板お願い！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単に一緒に活動できることを優先するのではなく、一緒に活動する中で、互いのよさを認め合う関係ができてくることが大切である。 ・共通の目的の実現のために、試行錯誤しながらも一緒に実現に向かおうとする過程を丁寧に捉え、一人一人の自己発揮や友達との関わりの状況に応じて、適切に援助する。 ・相手のよさに気付いたり、協同して活動することの大切さを学んだりしていけるよう援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級での集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら友達と協力する。 ・様々な意見を交わす中で、新しい考えを生み出しながら工夫して取り組んだりする。
道徳性・規範意識の芽生え	<p>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。</p>	 <p>Aちゃんはどんな気持ちだったのかな？</p>  <p>ちょっと待って！順番だよ</p>  <p>負けて悔しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを分かろうとしたり、遊びや生活をよりよくしていこうとしたりする姿を丁寧に捉え、認め、励まし、その状況などを学級の幼児にも伝えていく。 ・幼児が自分の言動を振り返り納得して折り合いを付けられるように、問い掛けたり共に考えたりし、幼児が自分たちで思いを伝え合おうとする姿を十分に認め、支えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりなどしながら、気持ちや行動を自律的に調整し、学校生活を楽しくしていこうとする。

	5歳児後半の姿	具体的な姿の例	教師の援助	小学校生活での姿
社会生活との関わり	<p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p>	 <p>ムーチーってこうやって作るんだ！</p>  <p>図書館っていろいろな本がたくさんある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の関心に応じて、絵本や図鑑や写真、新聞やインターネットで検索した情報、地域の掲示板から得られた情報などを、遊びに取り入れやすいように環境に取り入れるなどの工夫をし、情報との出会いをつくっていく。 ・ 情報を集める方法や集めた情報の活用の仕方、そのことを周囲に伝える方法などがあることに気付かせ、幼児が楽しみながら体験できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しんだり、関心のあることについての情報に気付いて積極的に取り入れたりする。 ・ 地域への親しみや地域の中での学びの場を広げていく。
思考力の芽生え	<p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>	 <p>どうしたらもっと硬いおだんごができるかな？</p>  <p>いいこと考えた！</p>  <p>それいいね！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境の中にあるそれぞれの物の特性を生かしつつ、好奇心や探究心を引き出すことができるような状況をつくるとともに、それぞれの幼児の考えを受け止め、そのことを言葉にして幼児たちに伝えながら、更なる考えを引き出していく。 ・ 幼児が意見や考えの違いに気付き、物事をいろいろな面から考え、そのよさを感じられるようにしたりしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校生活で出会う新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって主体的に関わる。 ・ 探究心をもって考えたり試したりする経験は、主体的に問題を解決する。

	5歳児後半の姿	具体的な姿の例	教師の援助	小学校生活での姿
<p>自然との関わり・生命尊重</p>	<p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。</p>	 <p>オオゴマダラの赤ちゃん何を食べるのかな？</p>  <p>はやくチョウチョになーれ</p>  <p>私のひまわりさん、こんなに大きくなったよ！</p>  <p>バナナってだんだん黄色くなるんだね</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の自然の状況を把握して積極的に取り入れる。 ・幼児が好奇心や探究心を持って見たり触れたりする姿を見守り、ときには、幼児の体験していることや気付いたことを教師が言葉にして伝える。 ・飼育や栽培を通して単に世話をするだけでなく、動植物への親しみや愛着といった命あるものをいたわり大切にすることを育む。 ・幼児と一緒に調べたり、幼児たちの考えを実際にやってみたり、そこで分かったことや適切なかわり方を、学級の友達に伝えたりする機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物や現象について関心をもち、その理解を確かなものにしていく。 ・実感を伴って生命の大切さを知ること、生命あるものを大切に、生きることのすばらしさについて考えを深めていく。
<p>数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p>	<p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>	 <p>お花の名前、みんなに知らせたい！</p>  <p>いくつバナナがあるか数えてみよう！</p>  <p>比べてみよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の数量や図形、標識や文字などとの出会いや関心のもちようを把握し、それぞれの場面での幼児の姿を捉え、その活動の広がりや深まりに応じて数量や文字などに親しめるよう、工夫しながら環境を整える。 ・一人一人の発達の実情などに即して、関心がもてるように丁寧に援助するとともに、数量や文字などについて、単に正確な知識を獲得することを目的とするのではないことに十分留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習に関心をもって取り組み、実感を伴って理解につながる。 ・学んだことを日常生活の中で活用する。

	5歳児後半の姿	具体的な姿の例	教師の援助	小学校生活での姿
<p>言葉による伝え合い</p>	<p>先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>	 <p>困ったことがある・・・</p>  <p>こんなことが楽しかったよ！</p>  <p>うらしま太郎の絵本を読んで、みんなで劇を作ったよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいくなるような体験をすることや、遊びを一緒に進めるために相手の気持ちや行動を理解したいなどの必要性を感じるようにする。 ・状況に応じて、言葉を付け加えるなどして、幼児同士の話が伝わり合うようにする。 ・絵本や物語の世界に浸り込むことで、豊かな言葉や表現に触れられるようにしたり、教師自身が豊かな表現を伝えるモデルとしての役割を果たすことで、様々な言葉に出会う機会をつくったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動する。 ・自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする。
<p>豊かな感性と表現</p>	<p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>	 <p>これなんだ？</p>  <p>見て見て、色が床に映ってる！</p>  <p>貝殻から何か聞こえる・・・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の幼児が様々な表現する楽しさを大切にするとともに、多様な素材や用具に触れながらイメージやアイデアが生まれるように、環境を整えていく。 ・幼児同士で表現を工夫しながら進める姿や、それぞれの表現を友達と認め合い、取り入れたり新たな表現を考えたりすることを楽しむ姿を十分に認め、更なる意欲につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習において感性を働かせ、表現することを楽しむ。 ・自分の気持ちや考えを一番適切に表現する方法を選ぶ。 ・臆することなく自信をもって表現する。

ワークシート2


活動の中での具体的な幼児の姿を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を捉えてみましょう。


6 カリキュラム開発における共通の視点の例

共通の視点① 期待する子ども像

生活の場の広がり、他者との関係の広がり、興味や関心の広がり、依存から自立へ、等の発達も踏まえ、期待する子ども像を考えましょう。

黄金っ子(0~8歳)の育ちの連続性 沖縄県「黄金っ子応援プラン」参照

年 齢	0歳の頃 	1歳の頃	2歳
育ちの特徴	<ul style="list-style-type: none"> 特定の大人との情緒的な絆を基にした、自分を取り巻く世界の認知の始まり 活発な探索活動 		
生活していく力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意思で体を動かそうとする 泣く、笑う等の表情で自分の思いを伝える 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の手で食べようとする 身の回りの
人とかかわる力	<ul style="list-style-type: none"> 喃語等で自分の欲求を表現する 周囲の信頼できる大人に働きかける 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の欲求や意思を言葉
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 目で追う、目の前の物をつかむ、口に入れる 絵本を読んでもらうことを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> 言葉が芽生え、語彙が増え始め 好き

年 齢	5歳の頃	6歳の頃 
育ちの特徴	<ul style="list-style-type: none"> 思考力の芽生え 規範意識の芽生え 	<ul style="list-style-type: none"> 協同性や目的意識の高まり 自分の
生活していく力	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、早寝、早起き、朝ご飯などの基本的な生活習慣が身につく 共同の用具を大切にし、安全に遊びを進める 	
人とかかわる力	<ul style="list-style-type: none"> 自信をもち、最後まで粘り強く取り組む 自分たちできまりを作り、トラブルを自分達で解決しようとする 他人の役に立つことを嬉しく感じ、仲間の一人としての自覚をもつ 	
学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 身近な文字や数字への関心が増し、生活や遊びの中で使う 探求心をもち、試したり工夫したりしながら没頭して遊ぶ 感じたり考えたりしたことを言葉等で表現する 話を聞く態度が身につく 	



自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。



の頃	3歳の頃	4歳の頃
芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性の芽生え 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己抑制の芽生え
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣がある程度自立することを自分でしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・全身運動が活発になり、様々な遊びに挑戦する 	
<ul style="list-style-type: none"> ・で表出し、自己主張をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な感情体験を通して少しずつ気持ちを抑えようとする ・遊びを通して、友達と遊ぶ楽しさや決まりがあることを知る 	
<ul style="list-style-type: none"> ・る ・な遊びを繰り返し楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」「どうして」と身の回りのこと、ものに興味関心を持つ ・友達とイメージを共有しながら、想像の世界を楽しんで遊ぶ 	
7歳の頃		8歳の頃
<ul style="list-style-type: none"> ・良さや可能性への気づき ・生活上必要な習慣や技能の獲得（確立） 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習上の自立・生活上の自立・精神的な自立
<ul style="list-style-type: none"> ・学習集団のルールを受け入れ相手の気持ちを感じ取りながら過ごす ・や遊びを進める 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々や社会との関わりに関心をもち、自分自身についての理解を深める
<ul style="list-style-type: none"> ・相手にわかるように自分の思いや考えを表現する 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人とかわるこの楽しさが分かり進んで交流する
<ul style="list-style-type: none"> ・話を落ち着いて聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組む態度が確立する ・与えられた課題を自分の課題として受け止め計画的に学習する 	



ワークシート3

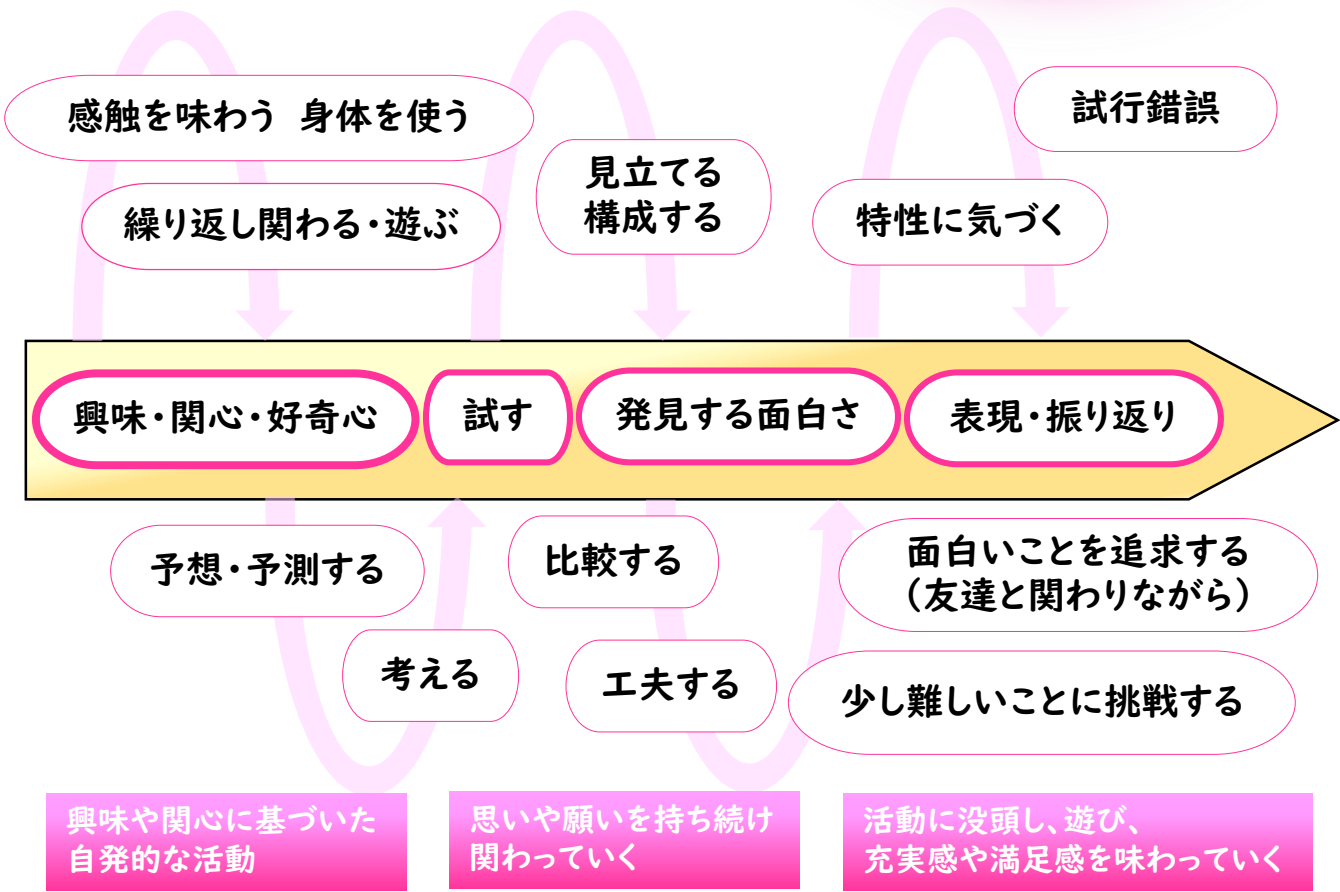
各園・小学校の育てたい子どもの姿をもとに「期待する子ども像」について話し合しましょう。

共通の視点② 遊びや学びのプロセス

遊びのプロセスの例

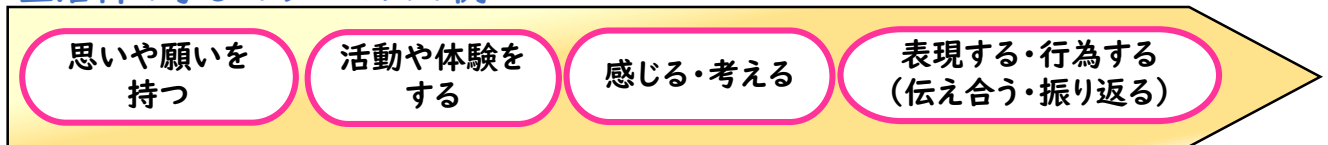
☆ 遊びは幼児にとっての学び ☆

遊びを通して、多様な仕方で環境に関わり、思考を巡らし、想像力を発揮し、自分の体を使って、また、友達と共有して、環境に様々な意味や関わり方を発見します。

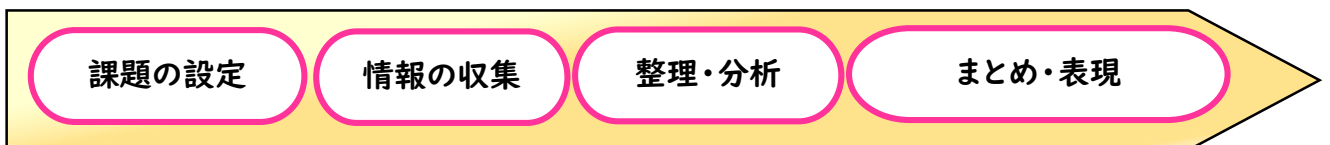


遊びのプロセスの例と、生活科や総合的な学習の時間の学びのプロセスの例を比べてみましょう。

生活科の学びのプロセスの例



総合的な学習の時間の学びのプロセスの例



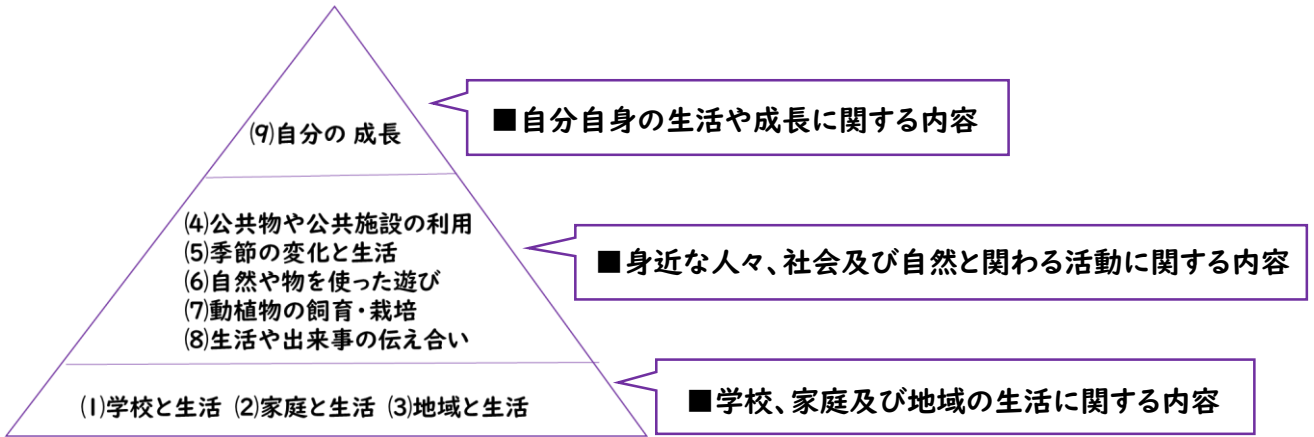
ワークシート4

遊びを通して、幼児がどのような学び(体験)を得て深めているのか、活動の中での具体的な幼児の姿を通して話し合い、理解を深めましょう。

共通の視点② 遊びや学びのプロセス

学びのプロセスの例

☆ 生活科の内容のまとめ ☆



☆ 生活科における学習のプロセスの例 ☆

生活科においては、一連の学習活動の「まとめ」としての単元の中で、体験活動と表現活動とが繰り返されることで児童の学びの質を高めていきます。

見方・考え方を生かして、低学年らしい思考や認識や意欲等を確かに育成し、次の活動へつなげる学習活動を重視する必要があります。

活動や体験は、教師の指示からではなく、児童の思いや願いから始まるようにします。

思いや願いを
持つ

活動や体験を
する

感じる・考える

表現する・行為する
(伝え合う・振り返る)

がっこうたんけん



白地図(教師の仕掛け)を発見!
きっと学校の地図だよ。
お部屋の名前がないね。
地図を完成させたいな。
こっそり忍者になって探検しよう!



お部屋の名前と説明(2年生作成)があるよ。
字がわかる人にメモしてもらおう。



お部屋の説明が読めるように平仮名の勉強をしたいな。
思っていたよりたくさんの教室があったね。
大きな地図にまとめよう!



それぞれがみつけたことを色紙にかいて並べたらいいんじゃない?

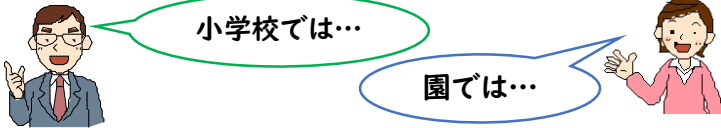
見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を工夫します。

教師が「いいね」「そうだね」「なるほどね」などと児童の気づきを認め、共通の視点に気付かせたり、ストーリーをつないでいったりしていくことで、児童のイメージはより広がります。

共通の視点③ 園で展開される活動・小学校での学習

小学校での学習や生活を見通した「幼児教育の展開」

小学校での学習や生活を見通すことが大事です。
幼児教育は、小学校教育の前倒しではありません。
相互の教育の内容や方法に関して話し合う中で、
将来の学びにつながる幼児の体験を、幼児期にふさわしい形で実現していくことを考えましょう。



小学校:子どもたちの「やってみたい」「考えたい」という気持ちを大事にした授業づくりを心がけています。



園:一人一人の子どもを理解し、興味関心を捉え、思わず関わりたくなるような環境構成を心がけています。

〈例〉

- ・子どもたちと一緒に自然との関わりを楽しみながら、子ども一人一人の気づきや感動を受け止めたり共感したりする。「(「本当だ!」「先生も知らなかったなー」「おもしろいね!」等)
- ・虫取りに必要な用具を自分達で作ったり発展させたりすることができるよう材料等を準備する。
- ・子どもの気づきや感動を友達と伝え合う時間や場を設ける。
- ・身近な自然や虫に関する図鑑や本のコーナーを準備する。

小学校:語彙の量が少ない子に対しての指導の工夫を考えています。

園:多様な体験で触れる様々な物、行動、感情を言葉にすることを大切にしています。



〈例〉

- ・言葉を言い換える。(一つ→1個 等)
- ・雨の降り方(しとしと、ザーザー)等、言葉の表す状況の違いや使用場面を意識する。
- ・文化や季節の行事などを楽しみ、感情を言葉にする。
- ・絵本や物語を通して言葉に親しむ。
- ・日本語の伝統にある名文等の豊かな文章や表現の響きに親しみ、楽しい言葉や美しい言葉と出会うようにする。

小学校:情報を主体的に収集・判断する力、受け手の状況などを捉えて発信する力を育成しています。

園:園や家庭等で得た情報を遊びに活用したり、興味や関心に応じて調べることができるようにしたりしています。

〈例〉

- ・物語作りに使う絵や写真を複数用意し、どちらがよいか相談するなど、情報の比較ができるような場面を設定する。
- ・遊園地ごっこの時に、遊園地にある乗り物を家族に聞いたり、パンフレットを見たり調べたりなど情報を収集するような状況を設定する。

共通の視点③ 園で展開される活動・小学校での学習

幼児教育での遊びや生活を踏まえた「小学校教育の工夫」の例

○一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築けるようにする

- ・朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動などを1週間の時間割に位置付けましょう。
- ・一定の期間は同じ学習内容を繰り返す連続性と、少しずつ内容が高まっていく発展性を意識しましょう。

★友達との関わりを広げる 自分のよさを一層発揮する

〈例〉折り紙、お絵かき、積み木、工作、カルタ、絵本など

★気持ちを解放する

〈例〉リズムにのって体を動かす

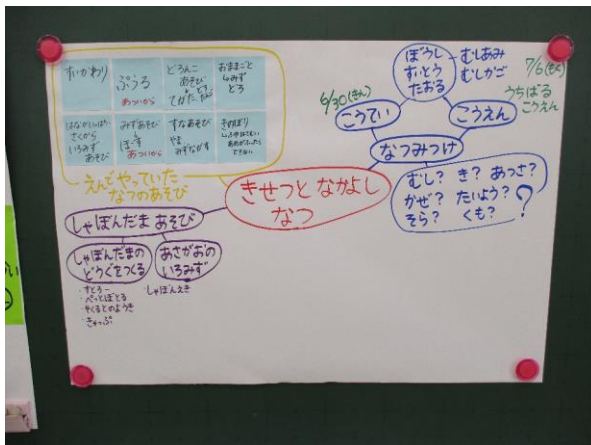


○合科的・関連的な指導による学習活動を工夫する

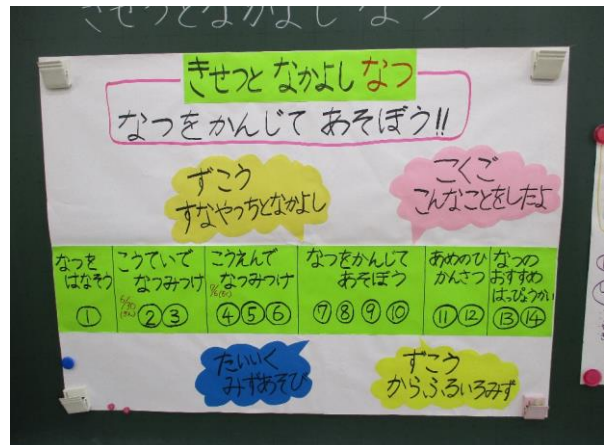
- ・子どもの思いや願いの実現に向けた主体的な学習につながるよう時間割を計画しましょう。
- ・生活科を中心に、つながりのある他教科等のねらいを考えながら合科的・関連的な指導を行いましょ。
- ・入学当初は、子どもの発達の特性に配慮し、10分から15分の短い時間を活用して時間割を構成したり、具体的な活動が伴う学習活動を位置付けたりしましょう。
- ・思いや願いの実現に向けた主体的な学習活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように、2時間続きなどの学習活動を位置付けましょう。

★子どものつぶやきを大切に、子どもの意識の流れに沿った学習活動

〈例〉園での経験を問う 子どもの疑問をメモする ウェビングマップの活用



ウェビングマップの例



学習計画の例

★体験を通して、見付けたり、遊んだり、不思議だと感じたり、やってみたいと思ったりしたことを、各教科等につなげる。

共通の視点③ 園で展開される活動・小学校での学習

幼児教育での遊びや生活を踏まえた「小学校教育の工夫」の例2

○スタートカリキュラムの充実

単元配列表

合科的・関連的な指導の工夫を行う際には、生活科と他教科等で学んだことがどのように関連付いていくのかを意識し、児童の思いや願いをいかした学習活動を展開するために、単元配列表の作成が効果的です。

児童の意識の流れを重視して各教科等の単元を配列することは、学び手である児童にとって自然で豊かな学びを作っていくことにつながります。

また、各教科等でどのような資質・能力を育成したいのかを意識しましょう。

第1学年 単元配列表(例)

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
国語	あいうえおであそぼう				
	いちねんせい	よろしくね	はるのあき	みつけたよ	ことばのひみつ
算数	なかまづくりとかず	くらべよう	10までのかず	なんばんめ	いくつといくつ
生活	がっこうだいすき みんななかよし				
音楽	みんなであそぼう		おんがくにあわせて		
図画工作	すきなもののいろいろ	じぶんマーク	こんなことあったよ	ねんどであそぼう	すなやつちであそぼう
体育	からだほやし	ゆうぐあそび		おにあそび	
道徳	げんきにあいさつ		みんなであそぼう	ともだちとなかよく	いきものとなかよし
特別活動	入学式	1年生を迎える会		よろしくね	
	よろしくね	たのしいきゆうしやく	おしごとたのしいな		

弾力的な時間割の設定

朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動などを位置づけ、楽しい気持ちで1日がスタートするようにしましょう。

生活科を中心に、つながりのある他教科等のねらいを考えながら合科的・関連的な指導を検討しましょう。入学当初の児童の発達の特性に配慮し、10分から15分程度の短い時間を利用して時間割を構成したり、具体的な活動の伴う学習活動を位置づけたりしましょう。

弾力的な時間割の設定

週案の作成・実施

週の目標
今日の目標

業前活動で、園の遊びや歌を取り入れ、安心して楽しく始められるようにする

短い時間の組合せ
(国語2/3,算数1/3)
2時間続きの学習

スタートカリキュラム第2週の週案(例)

	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日
日	4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)
朝の会	「あいうえおであそぼう」	「あいうえおであそぼう」	「あいうえおであそぼう」	「あいうえおであそぼう」	「あいうえおであそぼう」
1	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」
2	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」
3	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」
4	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」
5	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」	「お話を聞いて」

生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫
(学校探検→算数)
(学校探検→図工)

令和5年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
小学校・生活部会 文部科学省 齋藤調査官資料より



発達や学びをつなぐスタートカリキュラム

スタートカリキュラム導入・実践の手引き

(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター編著)も参考にして、スタートカリキュラムを充実させましょう。

ワークシート6

各園で行ってきた遊びや活動について情報共有し、スタートカリキュラムの作成にいかしましょう。

共通の視点④ 指導上の配慮事項

環境の構成

安心・自己発揮

見通しを持って生活

1日の時間の流れ



朝の支度の手順



絵や写真を添えるようにしましょう

当番・係等の役割表示



生活上のきまりを視覚的に理解

教師側から一方的に示すだけではなく、「こんな場合はどうしたらいい?」「園ではどうしていた?」などと問い、みんなで話し合って考えていくことも大事にしましょう。

道具箱の整理整頓



目の高さの掲示



トイレのスリッパのそろえ方



子どものアイデアを紹介



自分で選択して活動

遊びコーナーの設置 オープンスペースの活用



クールダウンの場の用意



環境の構成

主体的に学びに向かう

学習形態を工夫し協働的に学ぶ

グループで相談



興味関心が同じ友達と試行錯誤



その場で立ち上がって
ロールプレイ



学習への集中

すっきり整理された教室前面 子どもが活用しやすい黒板前 視覚に訴える板書の工夫



学習へのきっかけ

学習に活用できる資料の常設



学習意欲を高めるICTの活用



学びの足跡の掲示



ワークシート7

事例をもとに、先生の関わりや環境の構成について話し合ってみましょう。

保幼小の育ちをつなぐ 黄金っ子 架け橋サポートガイド

作成者

名渡山 よし乃 沖縄女子短期大学児童教育学科
宮城 利佳子 琉球大学教育学部
大城 香織 沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班
棚原 直樹 沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班
喜名 智美 沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班
山城 いと子 沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班
松田 恵子 沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班
國仲 きよみ 沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班
小橋川 真未 沖縄県教育庁義務教育課幼児教育班

作成協力者

金城 愛梨 南城市立大里北小学校
金城 都 うるま市こども未来部こども教育支援課

参考文献

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）
文部科学省

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料（初版）
文部科学省

発達や学びをつなぐスタートカリキュラムスタートカリキュラム導入・実践の手引き
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成30年3月

黄金っ子応援プラン（第2期沖縄県子ども・子育て支援事業支援計画）
沖縄県 令和2年3月

幼稚園教育要領解説
文部科学省 平成30年2月

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説
内閣府 文部科学省 厚生労働省 平成30年3月

保育所保育指針解説
厚生労働省 平成30年2月

小学校学習指導要領解説総則編
文部科学省 平成29年7月

小学校学習指導要領解説生活編
文部科学省 平成29年7月

小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編
文部科学省 平成29年7月